

Daisenji Area Walking Route Map

グリーンシーズン営業店舗

-  食事処/Restaurant
-  喫茶/Cafe Shop
-  おみやげ・売店/Shop
-  アウトドアショップ/Outdoor shop
-  宿泊施設/Accommodation



「地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」

たっぷり、大山を満喫するなら
このロングコース

歴史探訪ルートは
おもしろい伝承がたくさん！

がんばれ！絶景への道！

豪円山
Mt.Goen
標高891.3m

至 弥山

歴史探訪ルート

重要文化財・阿弥陀堂をはじめ、歴史・伝承が詰まった道

大山眺望ルート

■ 眺望抜群のポイントを巡る道（高低差あり、ルート設定自由）

参拝ルート

 御幸参道本通り～石垣の参道

目安
時間

目安時間

大神山神社奥宮 25分 15分 15分

寂靜山 15分

大山寺本堂 20分

阿弥陀堂 25分

豪円山登山口 15分

豪円山 15分

大山自然歴史館 15分

登山20分

国の重要文化財
大山寺阿弥陀堂
Daisenji Amida-do

毎月18日が拝観日

凡例/Legend

 伝承説明坂あり / Forktail written

 ビューポイント／ View point

 登山届ポスト／Post for Hiking registration

 案内所/Tourist Information Office 寺社・僧坊
Temple Shrine & Historical Place

 お手洗/Toilets  展示施設/Museum

 バスのりば/Bus stop  温泉/Hot spring

 駐車場/Parking

 駐在所/Police
 キャンプ場/Camp site

- ✉ ポスト/Post

100%

公式ホームページ 日本遺産ポータルサイト

作成 大山町 2024.7

信仰が森を守り、清冽な水を湛えた

開山一三〇〇年、神おわす山・大山

大山僧兵コースを10倍楽しむ3つの心得

1

西日本最大級、大山の天然ブナ林

水と森の関係を「存知ですか？」

森の涵養（かんよう）性とよく言われますが、ブナの木は20万から30万の葉を付けると言われています。やがてその葉が落ちて、腐葉土となりその保水力の高い天然のスポンジは雪解け水や雨水を貯えます。この水は栄養分たっぷりで、里の田んぼを潤し、日本海に流れ込みます。大山町のサザエの水揚げがダントツ県内一なのは、このため。

特徴的な背景として、このブナ林をはじめ動植物の宝庫である大山の自然は、人々の信仰心により保たれてきたということ。大山を神の山と畏れ、入山することもはばかられたことから営利の手が入らずに原生林として残っているのです。全国人里離れた手つかずの森林は数あれど、人の営み・信仰により守られた自然はどれだけあるでしょうか。

今も人々が、自然の恵みを「大山さんのおかげ」と感謝し、大山に向かって手を合わせるの特別なことではないのです。

2

無数のお地藏さんのなぜ？

日本遺産認定

「地藏信仰が育んだ日本最大の牛馬市」

一三〇〇年前、大山の山頂の池に現れたという地藏菩薩。すべてのいきものを救う地藏信仰の広まりの中から、人々が牛馬を曳き連れ参詣するようになり「牛馬信仰」も広まってきました。鎌倉時代以降、自然発生的に牛馬の取引が始まりやがて市が形成されるようになりました。明治時代には、年間一万頭以上の取引となり、当時日本最大の規模にまで発展したのです。

その後、牛馬市は鉄道の発達などで昭和初期に幕を閉じますが、地藏信仰自体は今も日々の営みの中で生きており、道脇の至る所に佇む地藏菩薩からも偲ぶことができます。

ちなみに、大山への参詣の道は大山道（みち）と呼ばれる5つの道があります。遠く岡山から延びる横手道など古道として一部トレイルコースとなっています。

3

コース名にもなった

つわもの・大山僧兵の伝承

国の史跡指定 国内を代表する山林寺院

かつて三千人の僧兵を要し中国地方に一大勢力を誇った大山寺。鎌倉時代に隠岐から脱出した後醍醐天皇を援けるため挙兵したと伝えられ、江戸時代には大山寺最高位の大山座主を、比叡山天台座主が兼帯していたほど権威の象徴でもありました。

その大山寺旧境内は、現在よりもずっと広い範囲に広がっていました。西は石の大鳥居付近から東は豪円山まで約1.4kmあり、その中に一六〇もの堂社跡や僧坊跡の存在が確認されています。これまで草木に覆われていた僧坊跡ですが、近年有志により伐開が進み、利寿権現社跡などその容貌が徐々に姿を現しました。平成二八年には国の史跡指定を受け、さらに整備を進めています。

『歴史探訪ルート』は伝承の道

重要文化財・大山寺阿弥陀堂

平安時代に建立されたと伝わるお堂で享禄2年（1529）に山津波で倒壊し、天文21年（1552）に現在の場所に再建されました。大山寺に現存する最古の建築物です。

本尊の阿弥陀如来坐像（高2.79m）は、仏師・良円の作で両脇には、観音と勢至の両菩薩を安置しています。建物、仏像とも国の重要文化財に指定されています。

拝観日は毎月一八日

圓流院

天井に描かれた水木しげる氏の妖怪画で有名です。

※現在は一般公開していません。

参道を通して

『参拝ルート』

大山寺本堂

現在の大山地藏信仰の中心をなすお堂。明治の大山寺再興の際、本堂となりました。一度焼失し、昭和26年（1951）に再建されています。

石畳の参道

大神山神社奥宮へ至る延長700mの参道は、自然石を敷いた道としては日本一長いそうです。

重要文化財・大神山神社奥宮

社殿は国内最大級の権現造り。文化2年（1805）に再建されました。神仏習合であった大山寺において、かつては地藏菩薩の化身である大智明権現を祀った本社で大山信仰の中心でした。明治期の神仏分離政策により、大神山神社奥宮へと名称が変えられ現在に至ります。



寂靜山から望む北壁

寂靜山（じやくじょうざん）

標高868.5mの大山北壁を眺めるのには絶好のビューポイントで、大山寺を開いた金蓮上人の入寂（僧が死ぬこと）の地と伝えられています。

山頂から中海や弓ヶ浜半島も展望できます。

何度も来なくなる『大山眺望ルート』

お里の松跡

その昔、合戦で戦死した恋人を悲しみ、この地で果てたお里を哀れんで僧兵たちが一本の松を植えました。その言い伝えの残る松の太木がありました。近年枯れてしまいました。

のろし台

北壁を一望する絶景スポット。元弘の役（1331～1333）では、名和長年が、後醍醐天皇を船上山に奉じて戦った折、大山寺から信濃坊源盛（長年の弟）が僧兵とこの地でのろしを挙げ出陣し、その名を天下に示したと伝えられます。

豪円山（ごうえんざん）

米子方面が展望できる場所。この山はもと呼瀧（よぶたき）山と呼ばれていましたが、大山寺中興の祖である豪円僧正の墓所となつて後、豪円山と呼ばれるようになりました。山頂付近には豪円僧正廟や世代墓が祀られ近世大山寺の聖域となっていました。